

## 第3章 生涯学習のこれからの方向

### 1. めざす本市の生涯学習社会と目標

本市の基本構想・基本計画（「元気発進！北九州」プラン）では、「人づくり」をまちづくりの基本方針の第一に掲げ、その具体的な取り組みとして、生涯学習を通して、多様な人材育成と住民主体のまちづくりを進めることとしています。

これを受け、平成23年度から5カ年を計画期間とする「北九州市生涯学習推進計画」を策定しました。策定以降、市民を取り巻く様々な社会環境の変化を受けて、平成28年度から新たに「市民が学び、つどい、まちは輝く。地域から学びの環を広げよう」を計画の目標に定め、5年間、生涯学習の総合的・体系的な推進を図ってきました。

市民の学習活動は、新しい可能性を見つけ、新たな自己を発見するという喜びを与えるものです。市民一人一人が、生涯にわたって、学び、活動することの楽しさや喜びを感じ、これを仲間と共有することは、家庭や地域を生き生きと活気あふれるものにし、社会の活力を維持・増進するものです。

一方で、人口減少や少子高齢化をはじめとする多様な課題の顕在化や、急速な社会環境の変化を受け、今後、地域社会においては、住民主体でこれらの課題や変化に対応することが求められています。また、地域固有の魅力や特色を改めて見つめ直し、その維持発展に取り組むことが期待されています。

こうした状況の中、住民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続的発展を支える仕組みをつくるため、市民一人一人の生涯にわたる学びを支援する必要があります。

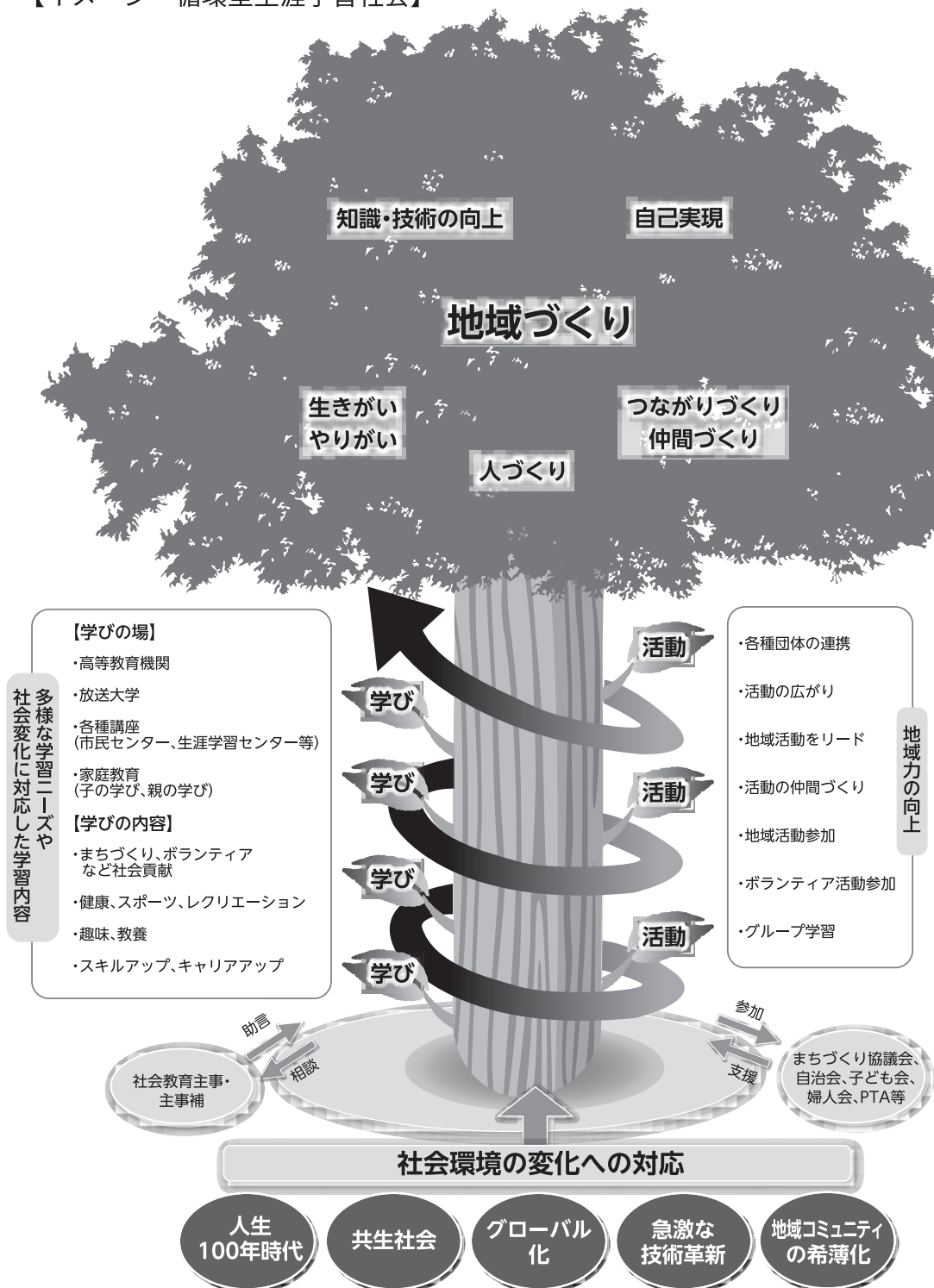
行政が行う「生涯学習の推進」とは、「多様なニーズに対応して、市民が生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所において学習することができるよう、またその成果を活かすことができるよう支援すること」です。市民の生涯学習を推進し、個人のよりよい生きがいづくりや生活づくり、また、暮らしやすい地域社会づくりにつなげていくため、関係機関と連携した各種事業の実施や情報の提供はもとより、「学び」と「活動」の機会の充実、市民が学んだ成果を活動に活かすことで新たな課題を発見し、その課題を解決するために更に学ぼうという学びと活動の循環につながる仕組みを構築します。

このような状況を踏まえ、本市のこれからの生涯学習社会の姿を描いたうえで、本市のめざす計画の目標を次のとおり定めました。

### (1) めざす生涯学習社会の姿

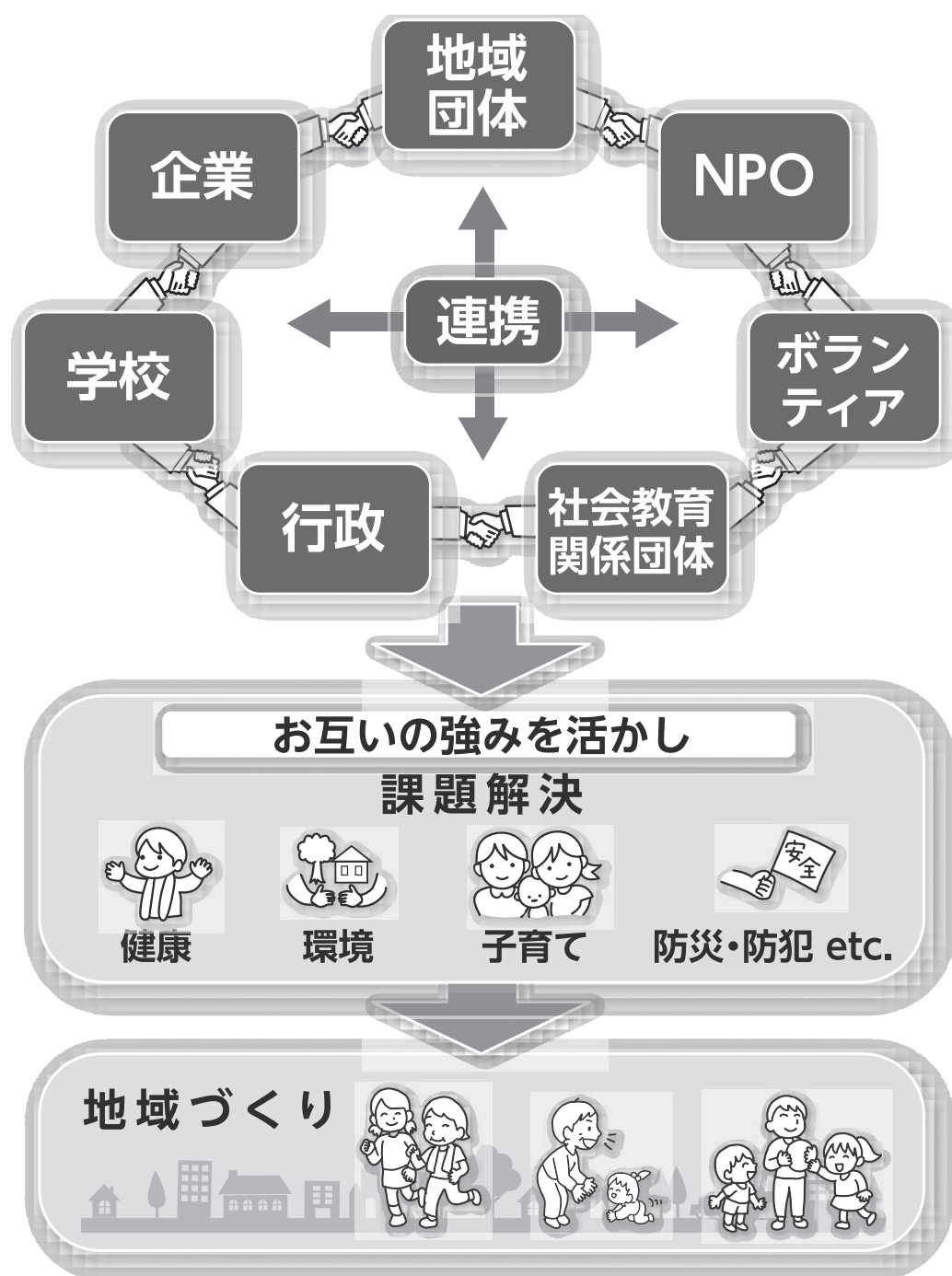
●市民一人一人が、生涯にわたるあらゆる段階や場面において、自分に適した手段・方法を選択し主体的に学習に取り組み、学んだ成果を行動に活かす人が地域社会に多く存在する社会  
(循環型生涯学習社会)

【イメージ 循環型生涯学習社会】



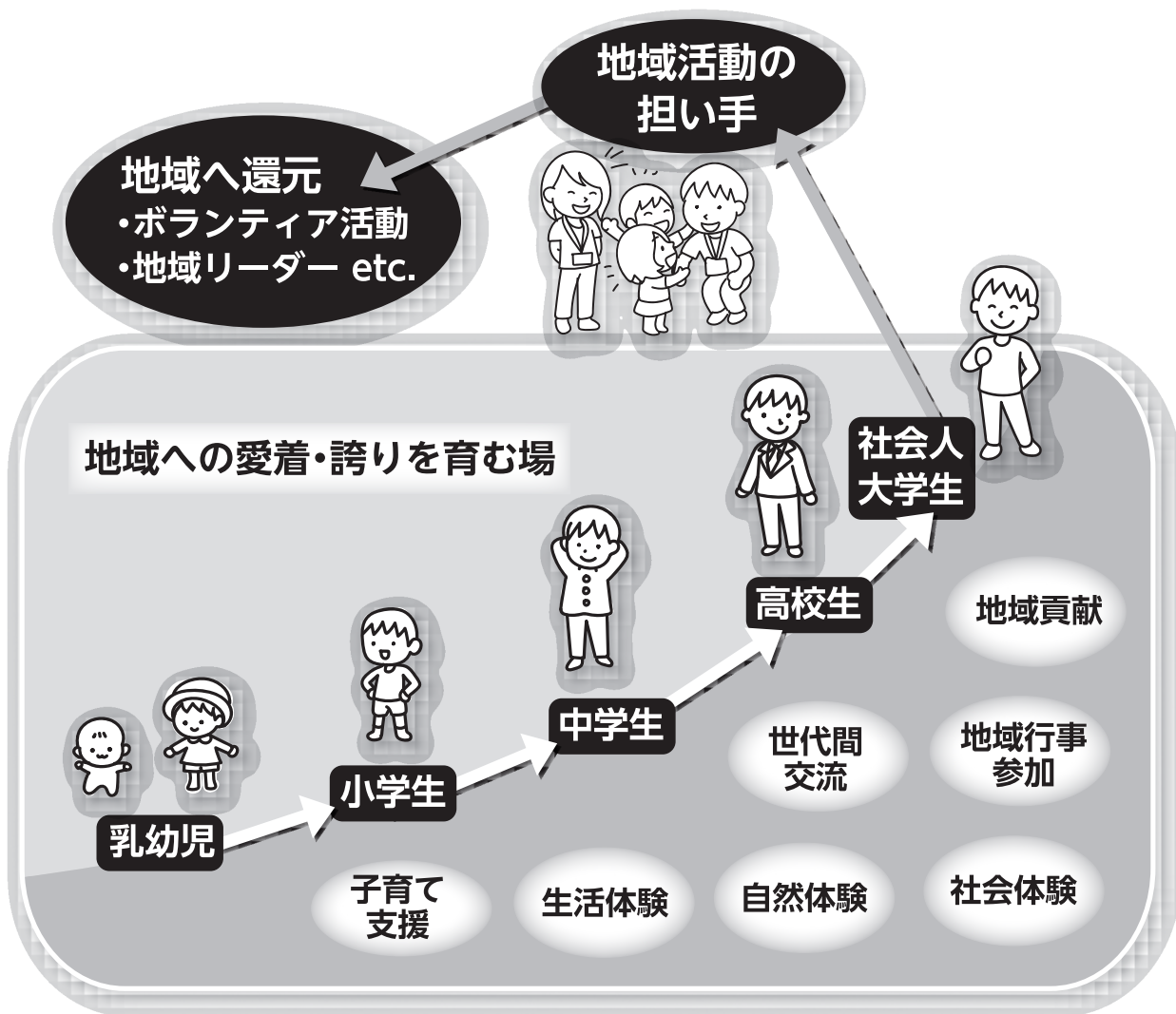
- 地域が抱えている多様かつ複合的な課題により効果的に対応するため、行政だけではなく自治会、まちづくり協議会等の地域団体、社会教育関係団体、学校、NPO、ボランティア、企業などの地域社会のさまざまな組織が、それぞれの強みを活かしながら共に支え合い高め合うネットワークが形成され、地域の活力が高まった社会（ネットワーク型生涯学習社会）

【イメージ ネットワーク型生涯学習社会】



- 地域の様々な市民や団体が継続的に子どもの健やかな成長・発達に関わり、子どもと大人たち全てが共に学び合い、支え合い、高め合う。また、子どもたちが安心して活動できる居場所づくりを進め、これからの時代に必要な力や、生まれ育った地域や本市への愛着や誇りを子どもたちに育む。そうした環境の中で子どもたちが将来の地域の担い手となる社会  
(次世代育成型生涯学習社会)

【イメージ 次世代育成型生涯学習社会】



## (2) 計画の目標

市民が学び、つどい、まちは輝く。学びと活動の環を広げよう。

## 2. 基本方針と施策の視点

この目標を実現するため、「第3期教育振興基本計画（平成30年6月）」や「中央教育審議会答申（平成30年12月）」等を踏まえた新たな視点から4つの基本方針を定めます。また、生涯学習施策の実施にあたっては、次の8つの視点を基に、今後展開していく施策を3つの柱に沿って推進することとします。

### (1) 基本方針

- 人生100年時代を豊かに生きるための生涯学習社会づくり
- 「学び」と「活動」が循環する生涯学習社会づくり
- 多様な主体のネットワークによる生涯学習社会づくり
- 子どもの成長への関わりを通して「家庭」や「地域」の力が高まる生涯学習社会づくり

### (2) 施策の視点

- きっかけづくり  
より多くの人々が学びの場と活動の場に一步踏み出すきっかけをつくります。
- 人づくり  
地域課題の解決に向けた学習活動の成果を地域活動、ボランティア活動等に活かす人材を育成します。
- つながりづくり  
学びや活動に参加することで、共に学ぶ・活動する仲間が生まれます。特に、地域では住民同士の仲間意識や絆を強めていきます。
- 地域づくり  
学びを通して地域課題に対する住民の関心を高めるとともに、住民同士の結びつきを強め、「住民主体のまちづくり」を推進します。
- ネットワークづくり  
地域団体や社会教育関係団体、学校、NPO、ボランティア、企業などの多様な主体が課題に応じて、連携・協働し、お互いの強みを活かし、より効果的に生涯学習を推進します。
- 多様性への対応  
市民一人一人の個性や多様な生き方、主体性を大切にしながら、全ての人々が学習できる機会や環境を提供します。

●支援体制づくり

市民の学びを支援するため、行政全体で横断的に連携・協働する体制を構築します。

●行財政改革

本市を取り巻く財政状況が厳しさを増す中、生涯学習の推進にあたって、「選択と集中」を進めていく必要があります。市が行う必要性やサービス水準、効率的な運営等の視点を持ち、各事業の点検、評価、見直し、改善を進めながら計画を実行します。

### 3. 施策の柱と具体的な施策

#### 施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

人生100年時代においては、すべての人が生涯を通じて自らの人生を設計し、学び続け、学んだことを活かして活動していくことが求められます。

また、すべての人が、それぞれのライフステージや多様性に応じた「学び」に参加できる環境づくりが求められます。

そのため、「学び」と「活動」の情報提供の拡充や「学び」と「活動」の場づくりなど、市民がいつでも・どこでも・何度でも自由に学んだり、活動したりすることのできる環境づくりを支援していきます。

具体的な施策1	「学び」と「活動」の情報提供の拡充
具体的な施策2	気軽に相談ができる体制づくり
具体的な施策3	多様な「学び」の機会の提供
具体的な施策4	「学び」と「活動」の場づくり

#### 施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

人々が社会生活を営む上で、取り組むべき現代的・社会的な課題は、社会環境の変化に伴い、多様で複雑化しています。今後、一人一人がこうした課題と向き合いながら、より豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会づくりを進めていかなければなりません。特に地域においては、住民自らが地域づくりの担い手としてその運営に主体的に関わっていくことが求められています。

そのため、「学び」と「活動」の機会を充実させることにより、多様な課題を解決するための能力やスキルを備えた人材の発掘・育成に取り組みます。

学習することによって自らの心を豊かにし、個人の生きがいや生活に必要な知識、技術を習得するだけでなく、その学習成果を社会へ還元していくことは、学習者にとって大きな喜びにつながります。また、自らの学習成果が誰かの役に立つことでやりがいも増し、

さらなる学習意欲につながります。この「学びと活動を循環」させることのできる人づくりが求められます。

そのため、学習成果を活かしたい人や団体等とそれを求める人や団体等とのつなぎ役となる人材や地域にある多様な資源（NPO、ボランティアなど）を活かすことができる人材の発掘・育成に取り組みます。

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 具体的な施策1 | 「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成 |
| 具体的な施策2 | 「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成 |

### 施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

地域における人と人とのつながりの希薄化等により、近所付き合いが減るなど高齢者や困難を抱えた人が地域で孤立するという深刻な状況が生じる恐れがあります。

「学び」と「活動」の循環は、人と人とのつながりをつくり、信頼関係や結びつきを強めることにもなります。

そのため、「学び」と「活動」の場の提供を通して仲間づくりを支援します。

また、地域コミュニティを活性化させるため、地域文化や伝統行事・祭りなどを通じた人と人とのつながりから生まれる地域への愛着・誇りといったシビックプライドの醸成を図ります。

子どもの「生きる力」を育むには、友達同士の集団遊びや生活体験、自然体験、社会体験など地域を舞台にした多様な体験の充実が求められています。

また、家庭は、子どもが家族との愛情による絆を形成し、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心などを身に付けていく場でもあります。

就労状況や家族形態の変化など家庭を取り巻く環境が大きく変わる中、不安や悩みを抱えながらも孤立することなく安心して子育てができるよう、地域全体で子どもの育成を支える仕組みづくりが求められています。

そのため、家庭、地域それぞれの教育力を高めるとともに、相互の連携を強化し、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちの発達・育成を促す環境づくりに取り組みます。

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| 具体的な施策1 | 「学び」と「活動」による仲間づくり   |
| 具体的な施策2 | つながりから生まれる地域への愛着・誇り |
| 具体的な施策3 | 学校と家庭・地域がつながる教育力の向上 |

# 北九州市生涯学習推進計画《”学びと活動の環”推進プラン》の体系

## 計画の目標

市民が学び、つどい、まちは輝く。学びと活動の環を広げよう。

## 基本方針

- ①人生100年時代を豊かに生きるための生涯学習社会づくり
- ②「学び」と「活動」が循環する生涯学習社会づくり
- ③多様な主体のネットワークによる生涯学習社会づくり
- ④子どもの成長への関わりを通して「家庭」や「地域」の力が高まる生涯学習社会づくり

## 施策の柱

### 柱1

誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

### 柱2

「学び」と「活動」による人づくり

### 柱3

「学び」と「活動」によるつながりづくり

## 施策の視点

- きっかけづくり
- 人づくり
- つながりづくり
- 地域づくり
- ネットワークづくり
- 多様性への対応
- 支援体制づくり
- 行財政改革





## 具体的な施策

## 取り組み

(1)「学び」と「活動」の情報提供の拡充	①「学び」と「活動」の一元的な情報提供 ②多様な媒体による情報提供
(2)気軽に相談ができる体制づくり	①「学び」の相談体制づくり
(3)多様な「学び」の機会の提供	①「学び」のきっかけづくり ②ライフステージや多様性に応じた学習機会の提供・充実 <<②-1 乳幼児期の生涯学習>> <<②-2 青少年期の生涯学習>> <<②-3 成人期の生涯学習>> <<②-4 高齢期の生涯学習>> <<②-5 多様性(障害のある人・外国人住民等)に応じた生涯学習>> ③現代的・社会的な課題の解決に向けた学習機会の提供・充実 <<③-1 人権教育の推進>> <<③-2 環境教育の推進>> <<③-3 男女共同参画社会の形成の推進>> <<③-4 子育て支援の推進>> <<③-5 超高齢社会対策の推進>> <<③-6 安全・安心対策の推進>> ④生涯学習実施機関のネットワークによる学習機会の充実
(4)「学び」と「活動」の場づくり	①学んだ成果を活かす仕組み ②生涯学習関連施設の整備
(1)「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成	①地域ボランティアの発掘・育成 ②地域リーダーの発掘・育成
(2)「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成	①「学び」と「活動」をコーディネートする人材の発掘・育成
(1)「学び」と「活動」による仲間づくり	①「学び」と「活動」をきっかけにした仲間づくり
(2)つながりから生まれる地域への愛着・誇り	①シビックプライドの醸成(地域文化、生涯スポーツ) <<①-1 文化振興によるシビックプライドの醸成>> <<①-2 スポーツの振興によるシビックプライドの醸成>>
(3)学校と家庭・地域がつながる教育力の向上	①家庭教育支援の充実 ②家庭・地域・学校の連携促進 ③地域における子どもたちの発達・育成を促す環境づくりと体験活動の促進

## 4. 計画と SDGs の関係

### (1) 北九州市の SDGs 達成に向けた取り組み

SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」は、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

北九州市は、外務省より「環境・国際貢献をはじめとする取り組みはトップレベルの功績であり、他の自治体の手本になる」という講評を受け2017年12月に、第1回「ジャパン SDGs アワード」の特別賞を受賞、さらにアジア地域で初となるOECDの「SDGs 推進に向けた世界のモデル都市」（2018年4月）、国の「SDGs 未来都市」（2018年6月）に選定されました。

北九州市では、SDGsの達成に向けて、『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』を目指すSDGs戦略（ビジョン）をもとに取り組みを進めています。



共同記者会見

### (2) 本計画と SDGs の 17 の目標との関係

SDGsにおいて、教育は目標4に位置付けられ「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する（短縮標記：質の高い教育をみんなに）」とされています。

しかし、SDGsの目標は、それぞれが独立したものではなく、相互に関係し、時には相反する価値を追求することもあります。そのような中で教育もまた、独立した目標ではなく、むしろ、『教育が全てのSDGsの基礎』であるとともに、『全てのSDGsが教育に期待』しているとも、言われています。

そのため、目標4をベースとし、各柱の具体的な施策・取り組みにあった目標につなげ、本計画の取り組みを推進します。



○参考：SDGs について

# SDGs (持続可能な開発目標) ってなに？









**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS** Public Private ACTION for Partnership!!  
 ~SDGsで日本を元気に、世界を元気に  
 その主役はあなたです!~

エスディーワーズ  
**SDGs = SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
 持続可能な 開発 目標

- ◆SDGsのSD (SUSTAINABLE DEVELOPMENT)とは、意識すると「子ども・孫などの世代に負担をかけずに、今の世代のニーズを満たす開発・発展」という意味です。
- ◆このような開発・発展を進めていくために、達成すべき具体的な目標として、上記のような「17のゴール」(=SDGs)が定められています。
- ◆これは、2015年の国際連合(国連)の総会で、すべての加盟国(193カ国)で取り組むこととされた、2030年までの「世界共通の目標」です。
- ◆日本においても、国全体で取り組むべき目標とされており、わたしたちのまち・北九州市でも、市民や企業、団体などが連携し、一丸となって取り組みが進められています。

【計画とSDGsの関係図】

	具体的な施策・取り組み	関連する主な目標（ゴール）
柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり	(1) 「学び」と「活動」の情報提供の拡充 ①「学び」と「活動」の一元的な情報提供 ②多様な媒体による情報提供	 
	(2) 気軽に相談ができる体制づくり ①「学び」の相談体制づくり	
	(3) 多様な「学び」の機会の提供 ①「学び」のきっかけづくり ②ライフステージや多様性に応じた学習機会の提供・充実 ③現代的・社会的な課題の解決に向けた学習機会の提供・充実 ④生涯学習実施機関のネットワークによる学習機会の充実	 
	(4) 「学び」と「活動」の場づくり ①学んだ成果を活かす仕組み ②生涯学習関連施設の整備	 

	具体的な施策・取り組み	関連する主な目標（ゴール）
柱2 「学び」と「活動」による人づくり	(1) 「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成 ①地域ボランティアの発掘・育成 ②地域リーダーの発掘・育成	  
	(2) 「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成 ①「学び」と「活動」をコーディネートする人材の発掘・育成	
柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり	(1) 「学び」と「活動」による仲間づくり ①「学び」と「活動」をきっかけにした仲間づくり	
	(2) つながりから生まれる地域への愛着・誇り ①シビックプライドの醸成（地域文化、生涯スポーツ）	 
	(3) 学校と家庭・地域がつながる教育力の向上 ①家庭教育支援の充実 ②家庭・地域・学校の連携促進 ③地域における子どもたちの発達・育成を促す環境づくりと体験活動の促進	

## 5. 指標等の設定

本計画を着実に推進し、進捗を管理するため、各施策に指標等を設定します。指標等は内容により2種類に区分し、市民意識や事業の進捗を指標等として設定します。

※各指標の項目及び目標値については、原則、今回設定されているものを使用しますが、今後、生涯学習を取り巻く社会状況の変化等が生じた場合は、必要に応じて見直しを行います。

指標等	内 容
指標	<ul style="list-style-type: none"><li>●指標項目は、必要かつ適切なものを施策ごとに設定。</li><li>●指標項目は、行政評価項目や他部局の計画の指標などを参考に設定（市民意識や事業の進捗など）。</li><li>●令和7年度の目標を定め、目標に向け年度毎に参考値を定める。</li></ul>
モニタリング項目	<ul style="list-style-type: none"><li>●施策に関連したデータ等でモニタリング（把握・確認）が必要なもの。</li><li>●目標値等は定めない。</li></ul>